

JCOAL Magazine

JCOAL Magazine 第 243 号 令和元年 10 月 28 日

★目次★

JCOAL 活動報告

- ◆モザンビークでのバイオコールブリケット事業を TICAD7 でお披露目
- ◆SDGs の達成に向けた JCOAL の取り組みについて
- ◆経済産業省資源エネルギー庁のウェブサイトに JCOAL 北村会長のスペシャルインタビュー記事が掲載

国際ニュース

- ◆コスタリカでプレ COP 会議開催
- ◆国連の気候行動サミットが開催

その他レポート／教育等

- ◆クリーン・コール・デー関連行事：大牟田市石炭産業科学館で入場無料公開
- ◆クリーン・コール・デー関連行事：釧路市で「石炭基礎講座」が開催
- ◆夕張市石炭博物館 火災鎮火後、平常通り営業中
- ◆JCOAL 業務紹介
(国際事業部「クリーンコールテクノロジー(CCT) 各国のニーズに合わせた技術交流」)

お知らせ

- ◆『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』好評発売中
- ◆『石炭の開発と利用』好評発売中
- ◆『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ
- ◆JCOAL 会員募集
- ◆石炭価格動向チャートを更新
- ◆「国内セミナー／会議情報」 および 「国際セミナー／会議情報」を更新
- ◆編集後記



JCOAL 活動報告

■モザンビークでのバイオコールブリケット事業を TICAD7 でお披露目

1. バイオコールブリケット事業を TICAD7 で展示・紹介

8月28日(水)～30日(金)にパシフィコ横浜で開催された第7回アフリカ開発会議(TICAD7)※において、JCOALがJOGMEC(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、以下JOGMEC)に協力しモザンビークで実施しているバイオコールブリケット事業についてパネル紹介、および七輪・バイオコールブリケット本体を展示ブースに陳列し紹介をした。

今回開催されたTICAD7での日本・アフリカビジネスEXPOにおいて、JOGMECブース内の展示コーナーにて展示。見学者が実際にバイオコールブリケットに手を取る光景が見られるなど、バイオコールブリケット事業に対する理解の促進に貢献することとなった。



JCOAL 塚本理事長と、展示したバイオコールブリケットと七輪本体

2. バイオコールブリケット事業について

モザンビークは高品位原料炭を生産し、我が国の原料炭安定確保において重要な供給国となっており、同国の数少ない外貨獲得源の一つとなっている。

モザンビークの国民の9割以上が家庭用燃料として薪・木炭を使用しており、森林破壊対策が喫緊の課題となっている。バイオコールブリケットは、輸出に適さない石炭と農業系廃棄物から構成され、薪・木炭の代替燃料として期待されている。バイオコールブリケットの普及によって、森林破壊防止や地域住民の生活向上も図られるとともに、これらの活動が日本にとって高品位原料炭の安定確保に資することとなり、モザンビークで炭鉱開発に参画している日本企業の支援策ともなる。本件事業は、JCOALがJOGMECから委託を受け協力をしているプロジェクトである。



※TICAD7 日本・アフリカビジネスEXPO

アフリカ開発会議 (TICAD) とは、1993 年に日本が立ち上げたアフリカ開発に関する首脳級の国際会議。TICAD5 までは、5 年毎で日本にて開催。TICAD6 からは、3 年毎で日本とアフリカで交互に開催されている (今回は、ケニアのナイロビで開催)。今回の TICAD7 は、アフリカから 53 개국、アフリカ以外では 52 개국・108 機関の約 1 万人が参加するメガ会議となった。

今回の開催にあたり、以前よりビジネスを重視する観点から、初のビジネス EXPO を同時開催が実現された。同 EXPO は 156 社、2 万人の参加があり、成功裏に終了。詳細は外務省特設サイトにも掲載。

外務省特設サイト: <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/ticad7/index.html>

資源開発部 串田智 / 企画広報部 高橋継世

SDGsの達成に向けた JCOAL の取り組みについて

持続可能な開発目標 (SDGs) について、JCOAL では SDGs 達成に向けた取り組みを公表しました。持続可能な世界を実現するための 17 のゴールについて、クリーンなエネルギーを世界中に届けることを中心とした様々な取組を行っております。

詳細は下記、ホームページをご参照ください。



JCOAL SDGs の取組について <http://www.jcoal.or.jp/news/2019/09/sdgsjcoal.html>

企画広報部



一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1
Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110
購読メール配信のお申込／お問合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで



■経済産業省資源エネルギー庁のウェブサイトにも JCOAL 北村会長のスペシャルインタビュー記事が掲載

経済産業省資源エネルギー庁のウェブサイトにも JCOAL 北村会長へのスペシャルインタビュー記事が掲載されました。

- 【インタビュー】「安定的で安価な石炭は今も重要なエネルギー源、技術革新でよりクリーンに」
-北村 雅良氏（前編） 2019 年 10 月 10 日（木）

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/interview17kitamura01.html>

- 【インタビュー】「先進技術で石炭のゼロエミッション化を目指し、次世代のエネルギーに」-北村 雅良氏（後編） 2019 年 10 月 16 日（水）掲載

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/interview17kitamura02.html>

各国事情を考慮したエネルギー政策の必要性／クリーンコール革命／石炭からカーボンフリーエネルギーを生み出す試み、等についてインタビューに答えております。
ご参照いただけると幸いです。



インタビューに答える JCOAL 北村会長
（上記インタビュー（前編）より画像引用）

企画広報部



国際ニュース

■コスタリカでプレ COP 会議開催

今年 12 月にチリのサンチャゴで開催予定の COP25、その準備会合（プレ COP25）が 10 月 8 日（火）～10 日（木）にコスタリカのサンホセで開かれた。3 日間で 90 カ国の代表者が集まり、ブルーカーボンから電動モビリティなど様々なトピックで 60 以上のサイドイベントが開催。参加者は 1500 人にのぼった。

今回のプレ COP では、去年（2018 年）ポーランドのカトヴィツェでの COP24 で持ち越しとなったパリ協定の運用ガイドラインについて、気候変動とファイナンス、ジェンダー、生物多様性などの関連性をテーマにしたセッション、サイドイベントが開かれた。参加各国は自国の国別削減目標（NDC＝nationally determined contributions）に対して、野心的で具体的な取組が重要であるとの認識を共有した。プレ COP 議長国コスタリカのロドリゲス環境エネルギー大臣は、「Nature-based solutions」を強調し、気候変動対策と生態系の保全について積極的な姿勢をアピールした。また、COP25 の大きな課題の一つである、パリ協定 6 条（他国で得られた排出削減量を取引して、自国の国別削減目標の達成に活用する市場メカニズムの規定）について、削減目標に対するクレジットの二重計上（ダブルカウント）の防止を中心に多くの発言があった。

国連気候変動枠組条約の事務次長であるオヴァイス・サルマッド氏は、このイベントが 9 月のニューヨークでの国連気候サミット、12 月の COP25（チリ）、そして来年の COP26（英国）をつなぐ架け橋の役割を果たした、と評価した。



下記、国連気候変動枠組条約プレスニュースより画像引用

国連気候変動枠組条約のプレスニュースより抄訳 <https://unfccc.int/news/precop25-in-costa-rica-serves-as-springboard-for-climate-ambition-towards-cop25-in-chile>

参考：環境省によるプレ COP プレスリリース <http://www.env.go.jp/press/107331.html>

企画広報部



■国連の気候行動サミットが開催

9 月 23 日（月）からニューヨークの国連本部で開催された「気候行動サミット」。77 カ国が 2050 年までに温室効果ガス排出量を正味ゼロにすることを誓い、70 カ国が 2020 年まで自国の行動計画を強化する予定もしくは既に強化を開始したと発表された。また、世界最大級の都市を多く含む 100 を超える都市の 100 人を超えるビジネスリーダーが、気候危機と闘うための新しい重要かつ具体的な措置を発表した。今回の同サミットの特徴は、グレタ・トゥーンベリさんをはじめとする若きリーダーによる指導者たちが、各国の指導者が行動を本格化させる緊急性や責任を追及する決意を述べた。

国連事務総長はあらゆる国の政府や企業・人々に対し、サミットで発表された取り組みに加わるよう強く訴え、さらに大きな野心と行動を着実に継続することを約束した。そして、国連システムがサミットで提示された計画の実施を支援すること、初回の報告をチリのサンチアゴで開かれる国連気候変動枠組条約第 25 回締約国会議（COP25）に提出することを確約した。

気候サミットで行われたすべての発表と約束の一覧は、www.un.org/climatechange にて参照可能。



国連公式動画（YouTube）撮影の様子

国際連合公式プレスリリース（英語）より抄訳

https://www.un.org/en/climatechange/assets/pdf/CAS_closing_release.pdf

国際連合広報センター（日本語）

https://www.unic.or.jp/news_press/info/34893/

企画広報部



その他レポート／教育等

■クリーン・コール・デー関連行事：大牟田市石炭産業科学館で入場無料公開

石炭の日であるクリーン・コール・デー（9/5）に合わせて、その直近の9月8日（日）に大牟田市石炭産業科学館の石炭館常設展示室が入場無料にて公開された。昨年も同じくクリーン・コール・デーに際し入場無料開放されたが、去年の来場者より40名ほど多い270名の方が来訪。

翌日の9月9日（月）には同常設展示室の展示物に興味関心をもっていたため、同石炭館のキャラクター“クロベエくん”を探すイベント館内探検「クロベエくんを探せ」も開催。他にも、実際に石炭を燃やしたり、実物の石炭を触ったり、石炭とボタとの重さを均等に揃えるゲームなども開催され、来場された皆さんに石炭を楽しく知っていただく機会となった。



（右）（左）ともに、同無料入場日の施設での来場者の様子

大牟田市石炭産業科学館 ホームページ <http://www.sekitan-omuta.jp/topic/index.html>

企画広報部



■クリーン・コール・デー関連行事: 釧路市で「石炭基礎講座」が開催

釧路市石炭産業対策協議会／釧路市／釧路市博物館の主催で、本年も「石炭基礎講座」が 9 月 21 日（土）に開催。幸い晴天で 18 名の参加をみて無事終了した。まず協力先の釧路コールマイン社（以下、KCM）交流室に 8 時 40 分に集合。同社で実施しているベトナム人研修の出勤時間と重なり、同研修生を多く見受けた。まんが『ニャンコール教授と学ぶ石炭のひみつ』などを使った石炭の説明、KCM 社概要の説明を受けた後、安全灯充電室や繰込所の説明を受け、10 時に「人車（じんしゃ）」の出発を見送った。地元釧路の方でも炭鉱訪問は初めての方もおられ、熱心に説明を聞き入り写真撮影をされていた。

今回はズリ山に登り、建設中の釧路火力発電所（2020 年度完成 11.2 万 KW）を見学。地元産の石炭を使用、湧出水の活用、石炭灰は埋め戻しに使用など、環境負荷低減や地産地消型を志向する点が強調。12 時 20 分に解散となり有意義な見学会となった。



釧路コールマイン社入口



説明風景



安全灯の説明風景



人車について説明風景



釧路石炭火力発電所完成予想図



ズリ山で記念撮影

企画広報部 田野崎隆雄

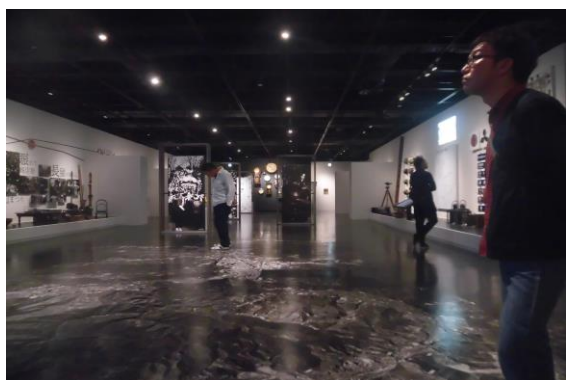


一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1
Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110
購読メール配信のお申込／お問合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで



■夕張市石炭博物館 火災鎮火後、平常通り営業中

北海道の夕張市石炭博物館は、今年 4 月に“模擬坑道”にて火災が発生した影響により、模擬坑道は現在も見学が出来ない状況が続く。しかし、模擬坑道以外の施設は平常通り営業されており、10 月 2 日（水）から開館時間は 10：00～16：00 となった。なお、冬季休館予定については 11 月 5 日（火）から来年 2020 年のゴールデンウィークまでが予定されている。展示は夕張地区の産業発展や変遷を地元の声で聴くコーナーやエレベータで過去の採掘現場に降り立つ演出など、模擬坑道の見学はできなくも十分見ごたえのあるものになっている。



5 月 20 日（月）には『炭鉄港』※1 が日本遺産に認定。認定にあたり厚谷夕張市長から以下のようにコメントが出された。『炭鉄港』のストーリーの中で、私どもが住んでいる空知は“石炭”ということで、長い歴史の中で、この日本の発展を支えてきた産業でもある」、そして「最近“石炭”が“燃える石”ということは子ども達も含め理解が難しく、経験も多くはないと思います。今回の『炭鉄港』の日本遺産認定という機会を通じ、この空知の“石炭”によって発展してきた歴史と、今につながっている人々の暮らしぶりというものを改めて感じていただければ大変嬉しく思います」※2 と述べられた。

※1 『炭鉄港』（炭鉱（ヤマ）の記憶推進事業団による）ホームページ <http://3city.net/>

※2 「ついに再開しました！！【夕張市石炭博物館】」（そらち・デ・ビューより一部抜粋）

<http://sorachi-de-view.com/yubari/sekitanhakubutsukansaikai>

夕張市石炭博物館 ホームページ <https://coal-yubari.jp/>

企画広報部



■ JCOAL 業務紹介

(国際事業部_「クリーンコールテクノロジー(CCT) 各国のニーズに合わせた技術交流」)

JCOAL がどんな活動をしているのか、JCOAL スタッフにインタビューする第 4 弾もアッシュ君が担当者に聞いて皆様に報告します。今回は国際事業部のお仕事ですよ。



原

2009 年 12 月に入社。現在、国際事業部に所属している
原千登勢（はらちとせ）と言います。
アッシュ君、きょうはよろしくね。

こちらこそ！

原さんのいる『国際事業部』ってどんなところなの？



アッシュ君



原

石炭について 海外事業を展開している部で、国際色豊かな
部署だよ。経験豊富な技術者やバイリンガルな人、海外出身
の方など色々な人が居るんだよ。

バイリンガル？僕、あこがれちゃうな。原さんは国際事業
部でどんなことをしているの？



アッシュ君



原

国内外で開催される国際会議などの“準備”を主にしているよ。

この前、開催された第 28 回クリーン・コール・デー国際会議を
例に挙げると・・・講演者との連絡・調整／予稿集作成／大使館
へのアポイントメント／当日の資料作成／招待者の宿泊ホテルや
航空券手配／通訳の手配／印刷業者との連絡や納期調整・・・な
ど、様々なことを経験したよ。

すごいね！まるで秘書と編集者をいっぺんにこなしている感
じだね！聞いているだけでも、僕なら目が回りそうだよ。
1つ1つ着実にこなせているのは、原さんの仕事に対する慎
重さや丁寧さ、そして頑張りがあるからだね！



アッシュ君





原

秘書だなんて！そんなすごいことはしていないよ。編集と言っても執筆していただいたものを取りまとめているだけですし。

一人一人の方の支援や、会議資料作成を同時期に実施されるのは、原さんが居ないと成立されないと思うよ。名前は表に出ることは少ないけれども重要なお仕事だし、「縁の下の力持ち」という言葉じゃ足りないくらいだよ。



アッシュ君



原

そこまで褒められると照れちゃうな。でも、ありがとう！

お仕事で苦労したことや、難しかったことってある？



アッシュ君

どんなに万全を心がけて準備をしても、当日や本番に起こりうるアクシデントと背中合わせの緊張感があるよ。



原

この前の第 28 回クリーン・コール・デー国際会議では、会議開催日が 9/9(月)・10(火)で、9/9 は台風 15 号が上陸した日だったんだよ。事前に台風の進路予測などはされていたけれども、予想を上回る電車や道路などの交通機関の大幅な遅れや、不通などが広範囲で発生。開始時間を遅らせたり、プログラム変更をしたりと、急な対処をしたのが、最近の中で一番印象に残っているよ。

急な変更にも、混乱をきたすことなく対処を求められるんだ。僕ならドキドキして焦って僕自身が混乱してしまいそうだよ。



アッシュ君

そして、これからの目標ってどんなことがあるのかな？





原

部内の管理支援業務も担当しているのだけれども、おぼつかない部分が有るのでもう少ししっかり取り組みたい。
英語も（海外対応などが多い）今の業務に役立つようにレベルアップするためには、ちゃんと勉強したいって思っているよ。

仕事をていねいにこなしているからこそ具体的な目標だね！
今の業務をしながらさらに勉強するのはとても大変かもしれないけれども、僕、応援しているよ！



アッシュ君

頑張ってね！原さん！



原さんのデスクにお邪魔したら、にゃんコール教授とポーズをとってもらえました



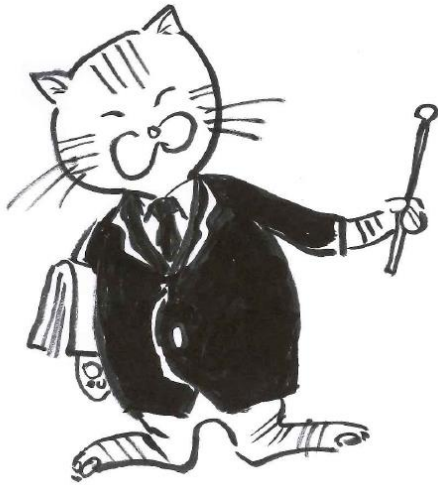
「仕事の目標ではないのですが」と前置きされた上で、“伝説の家政婦志麻さん”のレシピで試しに作ってみたポタージュスープがとても美味しく出来上がり感動されたと話す原さん。他にも志麻さんレシピのお惣菜やお菓子なども作ってみたいと、できあがった料理の湯気まで見えそうなくらい美味しそうに説明してくれました。

社外の方だけでなく、社内のメンバーにも素敵な笑顔で丁寧に対応される様子は見習うことばかりです。原さん、終始楽しくお話をしていただき、今回はありがとうございました。

次回も、JCOAL の取組紹介と担当の方にインタビューをします。
お楽しみに！原さん、ありがとうございました。

お仕事の様子をパチリ





ニャンコール教授のひとこと

「クリーン・コール・デー」は何で中点「・」が入っているの?という質問があったぞい。

9月5日は「石炭の日／クリーン・コール・デー」として1992年に、通商産業省（現在の経済産業省）の呼びかけにより、日本鉄鋼連盟・電気事業連合会・日本石炭協会（現在のJCOAL）など石炭関係8団体が構成された「クリーン・コール・デー実行委員会」によって制定した日のじゃよ。「石炭の日」を「クリーンコールデー」ではなく「クリーン・コール・デー」（と中点を入れたことば）で制定されておるからなのじゃよ。

そして、今月とはある場所では出前授業を開催する予定じゃ。来月のJCOALマガジンで出前授業の様子を報告するぞい。

石炭について知りたいことがあれば、何でも聞いて欲しいぞい。

「教えて！ニャンコール教授」のコーナーでは、みなさんからの質問を受け付けております。どんなことでも、ニャンコール教授が答えます！ページ下記までご連絡お待ちしております。ニャンコール教授に食べてほしい石炭モチーフグルメのリクエストもお待ちしています。



お知らせ

『石炭データブック COAL Data Book(2018 年版)』好評発売中

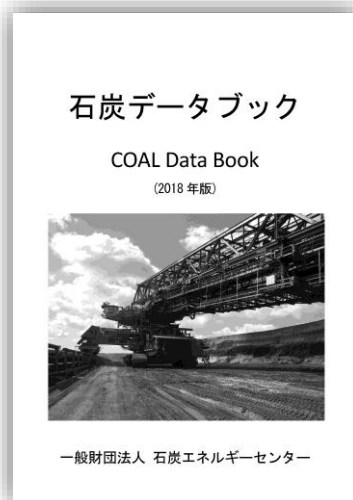
JCOAL では「コール・ノート」に変わる石炭専門のデータ本として、昨年『石炭データブック COAL Data Book (2017 年版)』を刊行。この度、2018 年の最新データにて更新した『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』の発売を 4 月 1 日から開始しております。

2017 年版に引き続き、石炭の世界の埋蔵量、生産量、消費量および石炭に関する各国の状況をデータ中心にまとめております。主要産炭国の基本情報や政策、電力事情等の情報も更新しております。

この機会にぜひお買い求め頂けると幸いです（購入方法および各項目の詳細は、下記 URL をご参照ください）。

版型_A5 版 / 定価_2,500 円＋税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDataBook/2018.html>

『石炭の開発と利用』好評発売中

石炭の上流部門から下流部門までの基本的なノウハウを図や写真などを交え、専門的な技術をわかりやすく記述した書籍となっております。

『石炭とは何か?』『どうやってできたのか?』から始まり、『石炭採掘方法から販売まで』『クリーンコールテクノロジー』『環境への配慮は?』等、石炭について知りたい情報を読みやすくまとめました。一般の方から専門家まで、この機会にぜひお読み頂けると幸いです。

版型_A5 版（183 ページ） / 定価_3,000 円＋税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDevelopment/development.html>



『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ

JCOAL コールバンクは、もうご覧になりましたか？

（一部データは事前連絡が必要ですが）基本は無料で参照可能となっております。

※『Internet Explorer』では参照がエラーになる場合もありますが、『Google Chrome』だと参照可能となる事もあります（Google Chrome は無料でダウンロード可能となっております）。

まずは<http://www.jcoal.or.jp/coalbank/>をインターネットで参照すると以下のページが出ます。



The screenshot shows the JCOAL Coal Bank website. The header includes the JCOAL logo and navigation links. The main content area features a banner for 'JCOAL コールバンク' and a list of features. A red circle highlights a video player with the text 'JCOAL コールバンク'.

JCOAL コールバンク (石炭の産地・性状データベース)

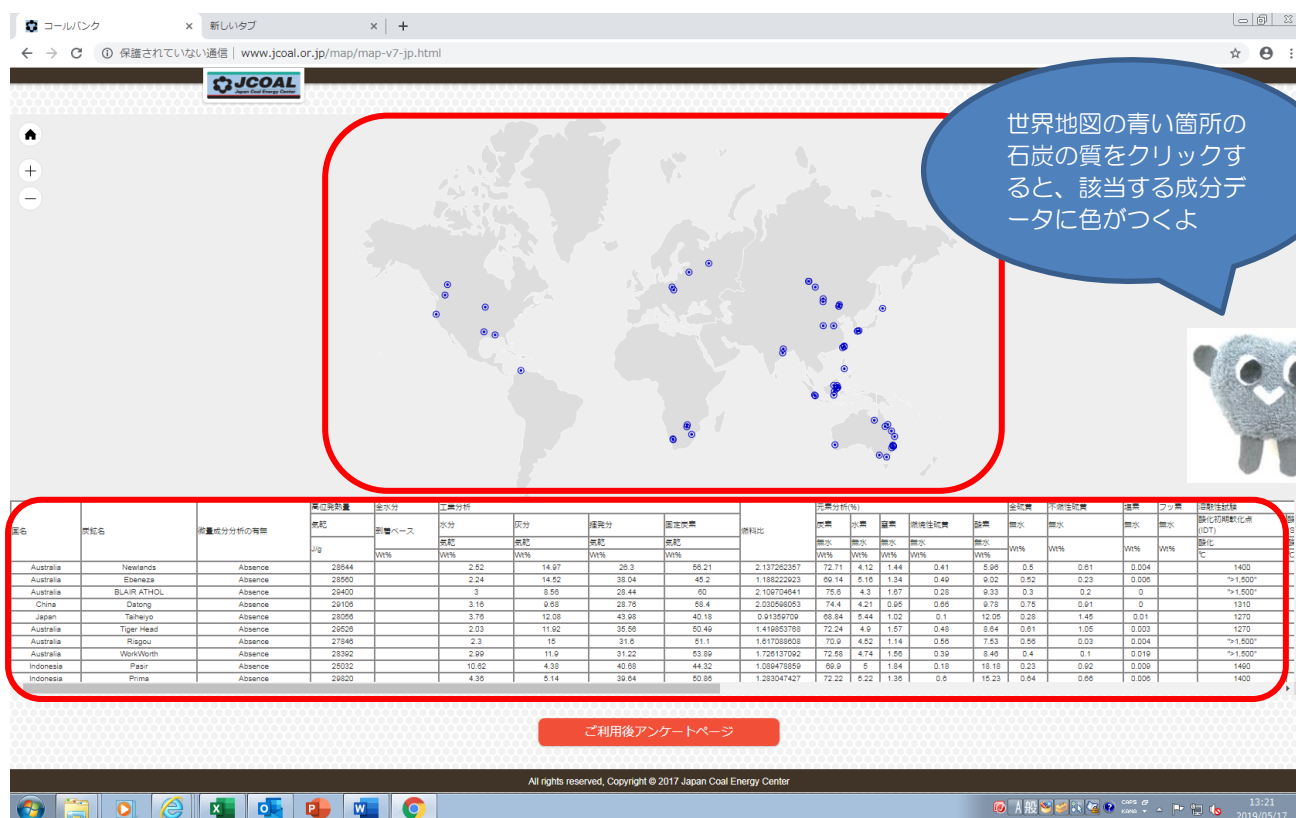
JCOALでは、NEDOからの委託を受けて企業や大学・研究機関等のCCT開発やCCT事業化を効率的に支援することを目的として、世界各国の石炭に関する品質、特性等のデータを管理し、情報および実サンプルを提供する「JCOALコールバンク」を開発し、2018年4月から新運用を開始しています。

- JCOALコールバンクの特徴は以下のとおりです。
 1. 無煙炭、遼青炭、亜遼青炭、褐炭まで世界中の100を超える様々な炭種が登録されています。
 2. データの分析はJCOALの責任の元で実施しております。
 3. データの閲覧は無料です。
 4. 登録石炭の実サンプル提供が可能です。（有償）
- 想定される活用事例
 1. 石炭調達の際、産地地の炭種を概観するのに利用。
 2. 複数の研究機関が共通のサンプル炭で試験することにより、試験結果の比較検討や議論

インターネットで、これと同じ画像の箇所をクリックするとデータが見られるよ



(※初めてデータを参照する際は、アンケートおよびメールアドレスのご質問があります。)



JCOAL では、世界各国の石炭に関する品質、特性等のデータを管理し、情報および実サンプルを提供する「JCOAL コールバンク」を開発し運用をしております。NEDO 委託による、企業・大学・研究機関等の CCT（クリーンコールテクノロジー）開発や事業化を効率的に支援することを目的としております。データの詳細はこちら（<http://www.jcoal.or.jp/coalbank/>）をご参照ください。

データ参照に際し、不明点等がございましたら下記までご連絡ください。



JCOAL 会員募集

JCOAL は当センター活動にご賛同頂ける皆様からのご支援とご協力により運営されております。
会員にご入会頂き、事業や調査研究などにご参加頂けると幸いです。
※会員企業の方は、専用のウェブサイトのご利用が出来ます。(コールデータバンク等)の他、会員様限定のサービスなどございます。詳しくはホームページをご参照下さい。

(<http://www.jcoal.or.jp/overview/member/support/>)

会員へのご入会・お問合せは TEL 03-6402-6106 企画広報部まで



(会員様専用のサイト「コールデータバンク」)

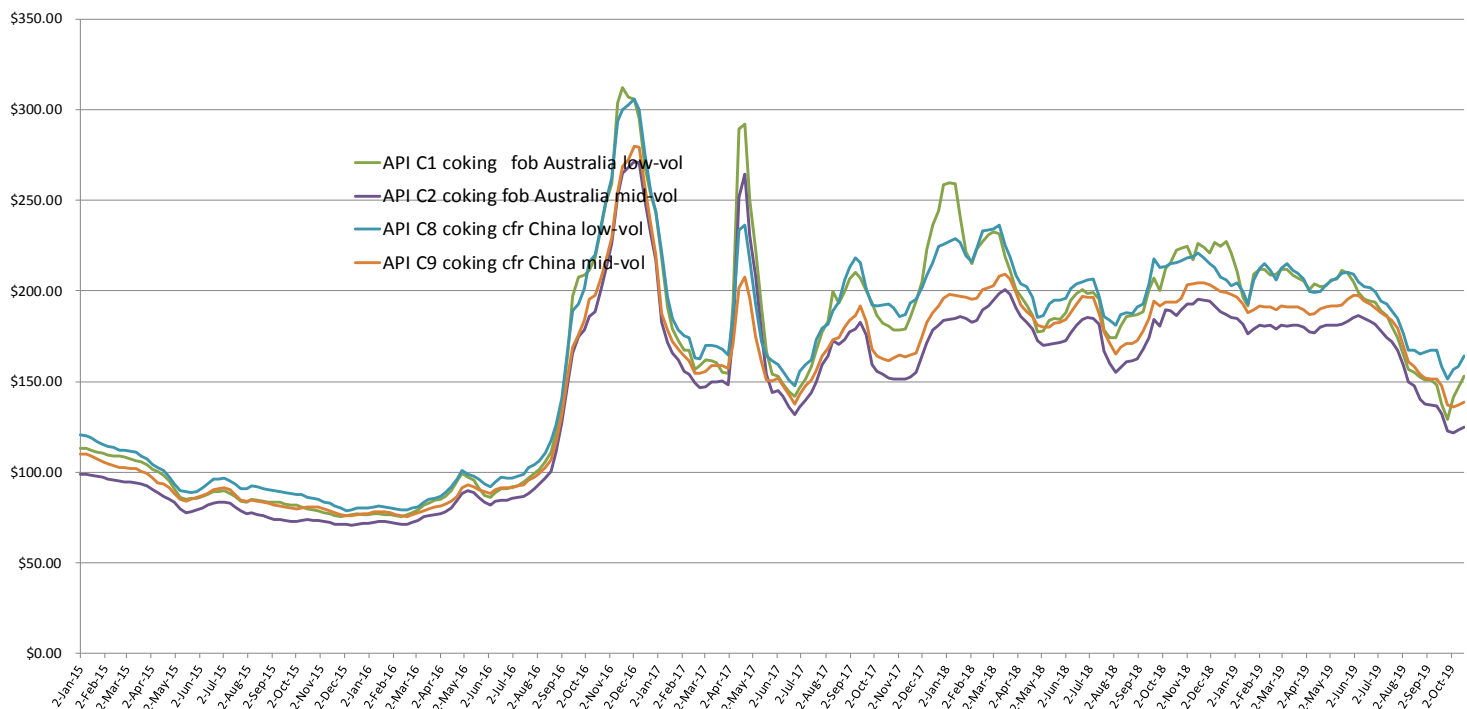
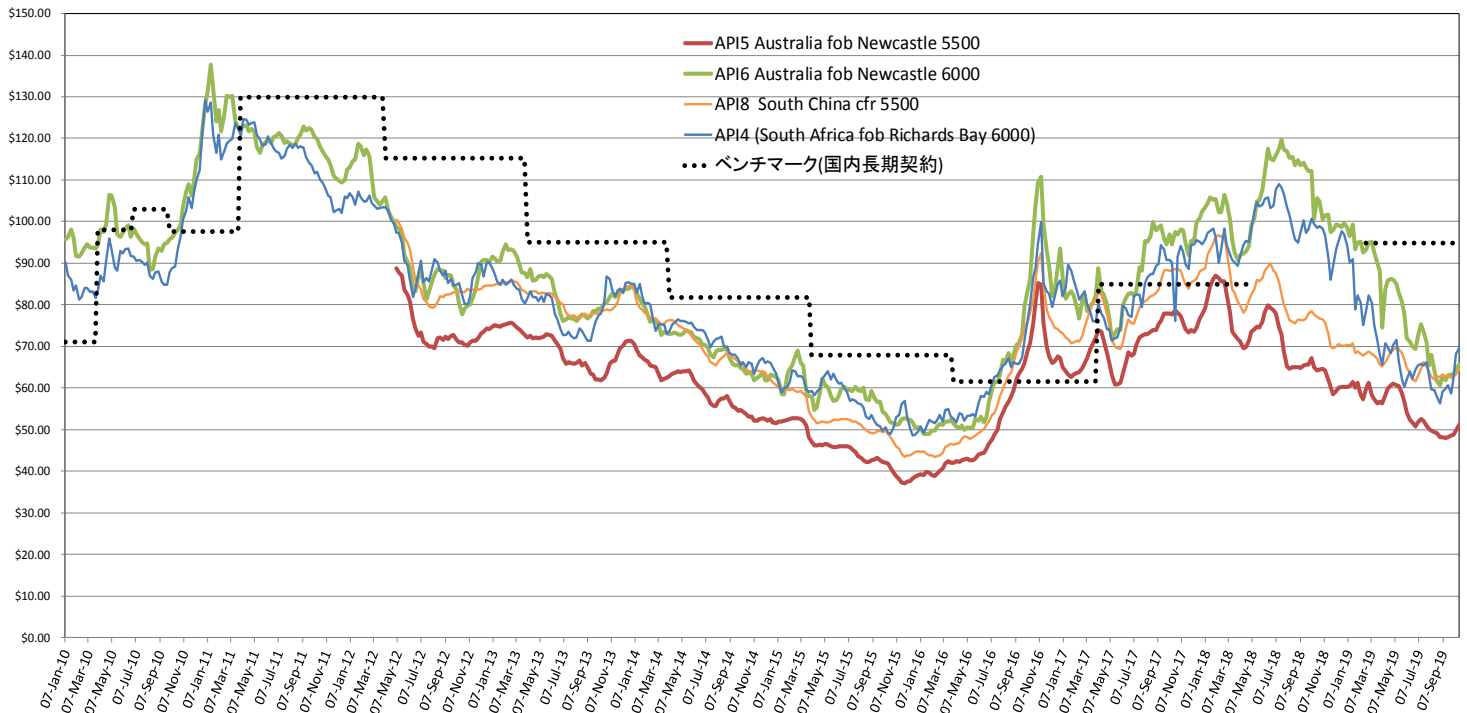




石炭価格動向



Argus/McCloskey's Coal Price Index



国内セミナー／会議情報

東京大学 エネルギー工学連携研究センター

各開催詳細はこちら→<https://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/html/seminar.html>

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所

各開催詳細はこちら→<https://eneken.iej.or.jp/seminar/index.html>

独立行政法人 国際協力機構(JICA)イベント・セミナー情報

各開催詳細はこちら→<https://www.jica.go.jp/event/>

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)イベント・セミナー情報

各詳細はこちら→<http://www.nedo.go.jp/search/?type=event>

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)

各詳細はこちら→<https://www.iges.or.jp/jp/research/event.html>



国際セミナー／会議情報

CHINA COAL & MINING EXPO 2019 (30 Oct-2 Nov 2019)

New China International Exhibition Center, Beijing, China

<http://www.chinaminingcoal.com/web/>

IV International Trade Fair MINING & MINERALS EXPO 2019 (5-7 Nov 2019)

15 Brovarskyi Ave, UA-02002 Kyiv, Ukraine

<http://www.iec-expo.com.ua/en/mieen-2019.html>

MetCoke World Summit 2019 (5-7 Nov 2019)

Nashville, TN

<https://www.metcokemarkets.com/metcoke-summit>

POWER GEN Europe (12-14 Nov 2019)

Paris Expo Porte De Versailles, Paris, France

<https://www.powergeneurope.com/>

POWER GEN INTERNATIONAL (19-21 Nov 2019)

Ernest N. Morial Convention Center, New Orleans, LA, USA

<https://www.power-gen.com/index.html>

XIX International Coal Preparation Congress & EXPO 2019 (13-15 Nov 2019)

India Habitat Centre, New Delhi, India.

<http://www.giph.com.pl/files/Aktualno%C5%9Bci/Ulotka%20ICPC2019.pdf>

MINING GEOLOGY 2019 (25-26 Nov 2019)

Crown Perth, Great Eastern Hwy, Burswood WA 6100, AU

<http://mininggeology.ausimm.com/>

ICE Coal Market & Trading Programm (3-4 Dec 2019)

London, United Kingdom

<https://www.theice.com/EducationCourses.shtml?courseDetail=&courseId=6663>

TECH MINING RUSSIA (5-6 Dec 2019)

Marriott Courtyard Moscow Pavelevskaya Hotel

<http://techmining.ru/en/#!/program>



※編集後記※



編集長・岡本：いつもご購入有難うございます。

今年も大きな台風被害が起きています。関東地方、それも東京 23 区内で非難勧告が出るなど、当方が生まれてこの方初めての経験のように思えます。皆様の地域は無事でしょうか？ 当方の住まいは荒川のすぐ近くにございまして、大昔に氾濫したという年長者のお話を聞くのみで、まさか今氾濫の危険にさらされるとは思いもしませんでした。

今この原稿を書いている最中にも区内の警報が SNS で発信されています。一体お天気はどうしてしまったのでしょうか、これが地球規模の気候変動なのでしょう。地震や台

風など、心配です。もしもの備えが欠かせません。被害に遭われている方々におかれましては、早く普通の生活に戻れますようお願い申し上げます。



編集・水澤：ニャンコール教授がクリーン・コール・デーを紹介しましたが、つい先日 10 月 24 日は『て（10）に（2）し（4）あわせに手に幸せ』ということで、“手乗り”で有名な『文鳥の日』でした。我が家にも文鳥が家に居るのですが、かごから出す「放鳥」をすると、すかさず人間の誰かの元へ行き、手の上や肩の上、膝の上など常にそばでびったり寄り添っています。『手に幸せ』と言いますが、手だけでなく心も気持ちも幸せで、脳内ではオキシトシン（幸せホルモン）出まくりです。何の前触れもなく「キャルルル！」とキれる

のも“ツンデレ”で、それもまた幸せを感じております。家に来てくれてありがたいの気持ちでいっぱいです。

JCOAL Magazine の感想・ご意見をお聞かせ頂けると幸いです。

次号は『JCOAL 担当にインタビュー』、『JCOAL 活動報告』、『国際ニュース』など様々なトピックでお送りします。

JCOAL の各 SNS アカウント



★Twitter <https://twitter.com/japancoalenerg1>

★Facebook <https://www.facebook.com/japancoalenergycenter/?ref=bookmarks>

★Instagram <https://www.instagram.com/sekitanenergycenter/>

★フォローお待ちしております★

★JCOAL Magazine に関するお問い合わせ並びに情報提供・プレスリリース等は jcoal-magazine@jcoal.or.jp をお願いします。

★登録名、宛先変更や配信停止の場合も、jcoal-magazine@jcoal.or.jp 宛ご連絡いただきますようお願いいたします。

★JCOAL メールマガジンのバックナンバーは、JCOAL ホームページにてご覧頂けます。

<http://www.jcoal.or.jp/publication/magazine/>

一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1

Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110

購読メール配信のお申込／お問い合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで

